



Lion

最上川



No.2



福島県相馬市へ「被災地支援ツアー」(長井LC主催)

L. 小関利一地区ガバナーも参加 (L. 手塚直樹地区幹事・L. 増田源幸地区会計も随行) P12 参照

ガバナー・テーマ

「確かな奉仕を 地球と未来に！」
～思いやりで We Serve～

アクティビティ・スローガン

「我等の奉仕は、輝く社会を創造します」

CONTENTS

ガバナー公式訪問を終えて	P2
新入会員紹介・MJF 寄付者	P7
委員会活動報告	P8
LCIF交付金を頂いて	P10
アクティビティ報告	P11
マンスリーレポート	P14
山形を巡る	P16



ガバナー公式訪問を終えて

332-E 地区 地区ガバナー L. 小関 利一

冷気日ごとに加わり、冬の足音が聞こえてくる時期となりました。

皆様には常日頃、ライオンズの活動・運営に、ご理解とご支援を賜り改めて感謝申し上げます。

11月27日(金)第2回キャビネット会議に、ご多忙の中LCIF国際委員・332複合地区LCIFコーディネーター332-D地区元ガバナー・名誉顧問であります谷岡 憲行 ライオンをお迎えしまして「キャンペーン100」について講話頂きました。

今年の春(2020年3月)、全世界を襲った新型コロナウイルス感染症は、今も収束のめどがつかないまま現在に至っております。

今期ガバナー公式訪問は8月28日(金)第1R合同を皮切りに10月6日(火)2R2Zを最後に県内9か所にて開催させていただきました。

どのリジョン、ゾーンでも熱烈な歓迎を受けるとともに三役協議会で慎重な議論を交わし、公式訪問その後はお酒を酌み交わさずにコロナ禍での解散をさせて頂きまして、ZCの方々始め各クラブの三役の御協力のもと無事、事故なく終了することが出来ました。有難うございました。

三役協議会の主要議題は3項目でありました。

- ①クラブ会長テーマ、アクティビティスローガンの説明、及び主要事業について
- ②会員増強・維持について
- ③LCIF「キャンペーン100」への取り組み

各クラブとも素晴らしいテーマと活動を展開しておりますことに感銘を受けました。

会員増強については、どのクラブも苦勞している中、今期ガバナーの方針である各クラブ純増3名(内女性2名)をお願い致しました。

◆クラブに留まり、活動に参加する訳

- ①例会で色々なメンバーの話が聞け、楽しい。
- ②人生を教える導いてくれる先輩ライオンがいる。
- ③人道的奉仕に共感でき、自分もその一員となっている。
- ④他クラブメンバーとも交流があり、同士の繋がりを感じる。
- ⑤クラブ運営に自分の意見が取り上げられる。
- ⑥ライオンズメンバーとして誇りがあり、それが糧となり自信の仕事に進進できる。

◆若い世代(入会者の浅い方)ライオンの不満

- ①クラブ例会が、面白くも楽しくもない。
- ②クラブアクティビティに、意見や意義が見出せない。
- ③人生の先輩である多くのメンバーから色々な話を聞

く機会がない。

- ④他クラブメンバーとの交流も少なく、狭い範囲でのクラブ活動。

- ⑤クラブ運営が、前例踏襲型で意見が言えない。

- ⑥経験もないのに、役だけ押しつけられる。

以上、上記内容にまとめさせて頂きましたので今後、各クラブ運営の参考にして頂ければ幸いです。

最後に、LCIF「キャンペーン100」について、一人当たり100ドル献金をお願い致し、それにクラブごとの目標を提示をお願いを致しました。

非常に有意義な時間を過ごさせて頂きました。

本当に有難うございました。今後、後半の活動に頑張りたいと思います。

コロナ禍であっても自然災害は容赦ありません。7月に九州や中部地方、東北地方で発生した「令和2年集中豪雨」が各地に多大な被害をもたらしました。LCIFでは、大災害交付金として10万ドル日本ライオンズから880万円の支援が決定されました。

この度、3R1Z合同・寒河江臥龍LCを幹事クラブとした「社会福祉法人さくらんぼ共生会」へ4回目のLCIF人道支援マッチング交付金10月13日\$50,000が承認され、10月27日5,281,233円を寒河江臥龍LCの口座へ振り込ませて頂きました。又、大石田LCより7月28日による最上川の氾濫被害により発生した災害廃棄物処理費用として、9月17日LCIF地域復興交付金を申請し、10月14日\$20,000が承認され、10月27日2,113,153円を大石田LCの口座へ振り込ませて頂きました。

引き続き長期支援が必要な被災地のため、皆様のご支援をお願い致します。

今年は、LCIF「キャンペーン100」奉仕に力を！の3年目、最終年度であります。奉仕活動に、全会員一丸となって取り組んでまいります。私達も残されました6ヶ月間を全力で取り組んでまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

今後もしばらくはコロナ禍、大変な状況の中でのライオンズ活動になります。

ジュンヨル・チョイ国際会長は、「健康と安全が、最優先です」とメッセージを私達にいただいておりますので、その点よろしくお願い致します。皆様のご健勝とご多幸とそれに、332-E地区の益々の発展をご祈念し、挨拶と致します。有難うございました。



第1R・第1Z・第2Z

1R1Z L.長瀬 洋子 (山形中央 LC)

8月28日金曜日は、ここ山形市においても新型コロナウイルスの感染者が少しづつ出てきた頃でした。丁度お盆の帰省時期から約2週間後の公式訪問実施は、332-E地区においては最初の公式訪問先でした。会場となった山形国際ホテル様には、感染防止対策を十分取っていただき、ご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

公式訪問に先立ち、キャビネット構成員と1リジョン11クラブの三役に第1副会長にも出席をいただき総勢58名での三役協議会となりました。協議事項は、会員増強と維持そして、LCIF100キャンペーンについての話などでした。90分の予定でしたが会議が順調に進み午後6時から、会場を移動して小関利一地区ガバナーの公式訪問となりました。コロナウイルス感染拡大しないようにと例会扱いにしなかった1クラブを除いて1リジョン10クラブは例会となりました。いつもと違い国歌斉唱やライオンズクラブの歌は声を出さずに心の中での斉唱となったことが印象的でした。しかし、ガバナー入場など大きな拍手は変わりなく小関利一ガバ

ナーに対しての歓迎はいつも通りでした。例年ですと200名くらいのライオン会員になるはずですが、今年度は、128名の公式訪問参加者になったことが少し寂しいのでした。何より、公式訪問後の懇親会の参加を見合わせるというキャビネットの意向があり、1ゾーンではアルコールの伴わない食事会に変更になってしまったことが少し残念でした。コロナ禍の中、開催出来たことに對して、参加された会員や山形国際ホテルに改めて感謝したいと思います。

12月になり、ガバナーより理事会・例会の自粛の通達などもありクラブ運営やアクティビティにも大きな影響を受けながらの活動になっている所ですが、ライオンズの誇りと奉仕の精神をもって乗り切っていけることを信じていきましょう。



第2R・第1Z

2R1Z L.横山 昭子 (米沢松川 LC)

10月2日(金)東京第一ホテル米沢を会場に、332-E地区第2リジョン第1ゾーン・地区ガバナー公式訪問例会を開催しました。公式訪問例会にあたり、会場をどこにするか諮問委員会で協議を行いました。例会後の懇親会は行わない、との指示を受けて、会場費をゾーン内クラブで負担することにし、予定通りに東京第一ホテル米沢で開催することができました。

小関利一ガバナー、佐野宏美第一副地区ガバナー、吾妻正章第二副地区ガバナー、そしてキャビネット幹事・会計、キャビネット役員をお迎えしての三役協議会では、2R1Z内4つのクラブ会長方針やクラブ運営、アクティビティーなどをガバナーに報告することができました。活発な意見交換の下、我々ゾーンの積極的な活動状況をガバナーに知っていただく良い機会だったと思います。

三役協議会の後は、2R1Z内4クラブから42名のメンバーが出席してのガバナー公式訪問例会。ゾーンチェアパーソンが先導し、大きな拍手で小関ガバナーを会場にお迎えしました。例会内では、ガバナーテーマ、アクティビティスローガン、そして地区運営方針などについてガバナーからお話をいただきました。

出席した会員が小関ガバナーの熱意を感じることができ、やはりガバナーから直接語っていただくことが、一番伝わるのだと改めて実感しました。そして、佐野第一副地区ガバナー、吾妻第二副地区ガバナーからのご挨拶も頂戴し、会員一同、お二人の副地区ガバナーに対しても親近感を持つことができました。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、昨年度末にリジョン合同例会を開催することができなかったため、今回のガバナー公式訪問例会において、2R2Z渡部辰雄ゾーンチェアパーソンよりリジョンキーの引継ぎをしていただきました。このように、今年は例年とは違う1年になりそうですが、ウイルスの感染予防をしながら、2R1Zでは、できる限りのアクティビティーを進めていきたいと思っています。





第2R・第2Z

2R2Z L. 渡部 辰雄 (飯豊 LC)

第2R第2Zガバナー公式訪問は10月6日に飯豊町町民総合センター「あーす」に於いて新型コロナウイルス感染拡大防止対策をとり第2ゾーン内6クラブの合同例会と懇親会は行わず三役協議会に公式訪問の内容を織り交ぜて開催しました。

当日は小関利一地区ガバナー、佐野宏美第一副地区ガバナー、吾妻正章第二副地区ガバナー、キャビネット役員をお迎えし、第2ゾーン内6クラブの三役及び第一副会長の出席のもと開催しました。

三役協議会では、小関利一地区ガバナー挨拶、2020-2021地区運営方針、重点目標及び三つの実践目標として①「LCIFキャンペーン100 奉仕に力を」②会員維持・増強3名(内女性2名)の促進③「アラート委員会の充実」についてお話いただき、また、佐野宏美第一副地区ガバナーからは「LCIFキャンペーン100」について現在までの状況と今年度の目標達成に向けた取り組みについてお話いただきました。

諮問事項については、各クラブ会長より「会長テーマ」と今年度の活動計画・目標を発表して頂き、コロナ禍におけるアクティビティのあり方等情報交換になった協議会となりました。

その後、小関利一地区ガバナーから前年度会員増強推進賞(飯豊LC)に、前年度キャンペーン100推進賞を(長井LC)に伝達いただき、更に地区ガバナー・バナーを贈呈いただきました。

今年度は、第2ゾーン長井ライオンズクラブから小関利一地区ガバナーの誕生であり、ゾーン内6クラブがホストクラブとして最大限協力することを確認し閉会となりました。

最後にご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。



第3R・第1Z

3R1Z L. 高野 晴州 (西川 LC)

今年の第3R第1Zのガバナー公式訪問はいつもの公式訪問とは違いまして、非常に淋しいガバナー公式訪問になってしまいました。コロナの影響とは言え、懇親会なし、出席者減少の中、ガバナーに対して大変申し訳ない事だったなあとの思いいっぱいでした。

私達の所属する、第3R第1Zは、河北LC、寒河江LC、西川LC、中山LC、寒河江臥龍LCの5クラブで運営されておりまして、9月4日西川町の開発センター“あいべ”で行われました。会場には、小関利一地区ガバナーはじめ、佐野宏美第一副地区ガバナー、吾妻正章第二副地区ガバナー、キャビネット役員の方々の出席をいただきまして開催されました。壇上には、30名程度いるのですが、客席には、50名に満たない人数の出席者、このような少人数のガバナー公式訪問になってしまった事、ほんとうに申し訳ないあとの心一杯でございました。

しかし、小関ガバナーの淡々とした挨拶誠にありがとうございました。

これからの事でございますが、ゾーンチェアパーソンには、ゾーン内のクラブと地区を結びつけるという重要な役割があります。又、地区ガバナーへの報告義務や、ゾーン内クラブの発展を支援すること、国際協会の目的を推進すること等、いろいろとございます。

地区のクラブ運営が成功するか否かは、ゾーンチェアパーソンの肩にかかっていると言っても過言ではないでしょうと学ばせていただきました。

このような重要な役職だということを肝に銘じて進んでいかなくてはと思います。

今年度まだ7ヶ月あります。この間第3R第1Zの方々と共に小関ガバナーを支え社会貢献という目標に向かって頑張らさせていただきます。





第3 R・第2 Z

3R2Z L. 武田 克二 (天童舞鶴 LC)

本年度も、昨年同様に9月17日(木)に、ほほえみの宿滝の湯にて、ガバナー公式訪問を、小関利一ガバナー、佐野宏美第一副地区ガバナー、吾妻正章第二副地区ガバナー、第3 R第2 Zキャビネット役員、5クラブメンバー総勢140名の参加の下に、盛大に開催出来た事深く感謝申し上げます。一部、三役協議会においては、ガバナーの本年度の方針、ガバナーテーマ、アクティビティスローガン、LCIF100キャンペーンなど細かく説明を頂き、各クラブ会長は、ガバナー方針に理解を持ち、本年度の活動に期待をするところでありました。また、各会長より本年度の事業説明が行われ、それぞれに各クラブに質問などがあり、盛り上がった三役協議会となり感謝申し上げます。2部、5クラブ合同例会においては、小関ガバナー、佐野第一副地区ガバナー、吾妻第

二副地区ガバナーのご挨拶を頂き、その後にLCIFキャンペーン100推進賞伝達、バナー贈呈、そして新入会員入会式。その新入会員入会式では、直接ガバナーよりラベルボタンを受け取り緊張の面持ちの会員もいたようです。本年度は新型コロナウイルスの為に三部の懇親会が中止となり大変残念な年になりました。しかしながら三役協議会、ガバナー公式訪問が角も盛大に行われた事、小関ガバナーはじめ全メンバーに感謝を申し上げ、各クラブの今後の活動に期待を持ち益々のご健勝をご祈念申し上げます。有難うございました。



第4 R・第1 Z

4R1Z L. 加藤 克彦 (尾花沢 LC)

9月11日(金)尾花沢市サルナートコンベンションホールで332-E地区4 R1 Z、L小関利一ガバナー公式訪問が行われました。通常は500席の会場ですがコロナ禍の中ソーシャルディスタンスを十分に取らないうちの開催になりました。

ゾーン内クラブの出席については強制感を無くし各クラブに任せて、人数制限をして執り行いました。

本来の開催方式とは違い、入会年数の若いライオン(会員)はどう感じたか、逆に言えばチャーターメンバーは今回の公式訪問をどう思ったか、生活様式が様変わりしている現状を踏まえれば、WEB会議が通常化している現下の状況では今後、各種大会や会議のあり方についても検討すべきと思います。

コロナ禍で奉仕活動も計画通りできない、例会も参加人数が少なくなっているクラブが多くなっています。

公式訪問でも100\$献金や会員増強に重点をおいた目標があり、ウィサーブの精神で日々活動してい

ますが現状は厳しいクラブ運営をどう乗り切れるかが現在のクラブ3役の大きな課題だと思います。会員減少、高齢化、3役の負担増等の問題を抱えながらも、各クラブが創意工夫しながら運営をしています。

年配の会員も若い会員も最大公約数である「奉仕」を通じて繋がるができること、それには相手を許容することが重要で、ジェネレーションギャップを埋めながら各クラブが進化していけば必ず活性化していくはずであります。

今後は、ゾーン内クラブの交流に重点をおき、対話と創造で善意の循環による奉仕の輪を広げてゆきたいと思っています。





第4 R・第2 Z

4R2Z L. 佐藤 日登志 (真室川 LC)

当ゾーンの開催日9月15日に小関ガバナー・佐野第一副地区ガバナー・吾妻第二副地区ガバナー・地区キャビネット役員並びにゾーン内キャビネット役員他5クラブの役員の方々の参加を得て滞りなく終了致しましたのは、前任の田中 Z C 並びに幹事クラブの真室川 LC 皆様の手厚いサポートのお陰と只々感謝する今日この頃です。

先輩方の今までの蓄積された会話術・会の持ち方・配布文章の作成と流石長年の書類の管理多方面の会議に出席し要点のまとめ方勉強になる限りの日々でした。

いざ我が身に置き換えると事務局のご苦勞が忍べれます。

さて公式訪問の問い掛けに対し諮問書を拝見しながら各クラブ会長・幹事の意気込みを感じる答弁でした。

それゆえにコロナ禍の昨今アクティビティの実施するだけでも非常に困難を極める周りの方々に理解と協力を得るため日々の何気ない努力の積み重ねが如何に住民に受け入れて頂けるか痛感致し

ました。

当ゾーン内に各クラブ賛同を得てアラート委員会を設置し今期ゾーン・チェアパーソンとして緊急時に即応できる4 R 1 Zの活躍を手本にゾーン内組織を構築したい物だと思ふ今日この頃です。

最後に例年の如く小関地区ガバナー他公式訪問にご参集頂いた皆様と近しく一献を酌み交ながら苦勞話など旧交を温める晩餐会を開催出来なかった事は、非常に残念に思っております。今後開催の地区年次大会・複合地区大会が当332-E地区で開催されますので他地区との交流できればと思っております。

情報の共有を進め無理のないライオンズ活動に皆様一丸で進めればと念じております。任期一年で時期に良い申し送りを出来ます様に頑張りました。



第5 R・第1 Z

5R1Z L. 大川 幸清 (余目 LC)

第5 R 第1 Zのガバナー公式訪問は、9月25日に酒田リッチ&ガーデンホテルにて小関利一地区ガバナー、佐野宏美第一副地区ガバナー、吾妻正章第二副地区ガバナー、キャビネット役員をお迎えし、第5 R 第1 Zの6クラブで合同例会として開催しました。コロナ禍の中、事前に懇親会中止のお知らせがあり、どのように開催したらいいのか、熟考しながら準備を進め当日を迎えました。三役協議会では小関ガバナーより最終年度となるLCIFへ、及び会員増強について熱い協力の依頼があり、それに対して、各クラブ会長よりクラブの事業説明と方針等を発表させて頂き、小関ガバナーより的確な提言を頂き、心を新たに事業の展開に取り組んでいきたいと思いました。その後の公式訪問の前に食事をキャビネット構成員は同じ部屋で、各クラブ員は大ホールでの開催とさせて頂きました。キャビネット役員とゾーン役員での食事後にライオンズ活動についてキャビネット役員の方々とお話を伺う事

が出来、貴重な時間となりこれからの活動に生かしていきたいと思ひます。続く公式訪問では例会セレモニー後、小関利一地区ガバナー、佐野宏美第一副地区ガバナー、吾妻正章第二副地区ガバナーよりご挨拶があり、バナーの贈呈の後、新入会員入会式では3名の新入会員がガバナーより直接ライオンズピンを付けて頂き緊張の面持ちの表情の会員を見ていると、私自身の新入会員の時を思い出してしまいました。閉会のゴングをもって終了とさせて頂きました。この度の公式訪問に際しては、コロナ禍の中での開催となりましたがご尽力を頂きましたキャビネット並びにクラブ会員に感謝申し上げます。ありがとうございました。





第5 R・第2 Z

5R2Z L. 上野 岩雄 (鶴岡朝陽 LC)

11月も半ばを過ぎ、クリスマスの飾りが目立つようになってきました。本年度も早いもので5か月を過ぎようとしております。コロナ禍の中でライオンズクラブの活動が中止、あるいは延期、自粛することがあり、なかなか本来の活動することが困難であり、各クラブが工夫をして活動している様子が見受けられます。本来なら東京オリンピック、パラリンピックが終えられ日本中が活躍の喜びを分かち合っている時期かと思われま。去る8月7日に長井タスパークホテルで、第2回ZC会議・第1回キャビネット会議を始めとして小関利一ガバナーのもとに2020年度がスタートを切りました。ガバナー・テーマ『確かな奉仕を地球と未来に』思いやりでwe serve～ のスローガンを確認、ZCの務めを1年間精進していく所存であります。8月20日には第2回のガバナー諮問委員会で各クラブとの意見交換を行いました。各部門ではキャビネットの要望が理解をして頂けない項目があり今後の課題も見つかりました。丁寧に説明を行いゾーン内の活性が図られればと思いました。9月29日に当ゾーンの三役協議

会、ガバナー公式訪問を小関利一ガバナーのもと、第一副地区、第二副地区ガバナー、キャビネット幹事・会計の出席を賜り次第を終了することが出来ました。しかしながらコロナ禍の中で本来の式典挙行は行えず情報、親睦交流の場である懇親会は行えず誠に残念でなりません。今後もコロナが第3波の兆しが見える中での活動になると思いますがそれぞれのクラブで創意と工夫をして各行事を行って頂きたいと思ひます。昨年は、当地方も雪がほとんどなく過ごしやすき冬でありましたが、今年も間もなく厳しい冬がやってきます。新型コロナウイルスはもちろんインフルエンザウィルスに感染しないように体調管理を万全に整えて健康で新年をお迎え出来ますようにお祈り致します。来る丑年2021年がクラブ会員皆様に取りましてより良い年でありますようにご祈念申し上げます。



2020-2021年度 新入会員紹介 (2020年9月・10月・11月)

クラブ名	新入会員	月	スポンサー名
山 形	鈴木良彦	11	木村政司
上山あららぎ	高橋洋之	10	五十嵐直哉
米沢中央	加藤真二	9	小島康貴
寒河江	岡崎あき	9	渡邊賢一
天童中央	水戸部英一	11	佐野宏美
東根さくらんぼ	高橋英司	10	杉浦一好

クラブ名	新入会員	月	スポンサー名
真室川	井上学	10	高橋秀則
酒田	阿部孝博	9	小鷹道則
鶴岡	佐藤嘉博	11	大瀧郁夫
鶴岡中央	飯鉢整	10	清和真寿美
	山本正樹	11	五十嵐喜光

MJF\$1,000 寄付者

ご協力ありがとうございます

(2020年9・10・11月)

□数合計 15

氏 名	クラブ名	送金日	□数
大高廣志	天童王将	9/28	1
天野禎二	東 根	9/2	1
市村孝夫	寒河江	10/23	1
門脇茂	新 庄	10/19	1
伊藤明彦	山形蔵王	11/25	1
齋藤利孝	上山あららぎ	11/4	1
佐藤秀明	山形紅花	11/11	1

氏 名	クラブ名	送金日	□数
後藤健治	河 北	11/12	1
升川峰亨		11/12	1
山内貞範	寒河江	11/4	1
大沼有康		11/4	1
佐野宏美	天童中央	11/10	1
太田高裕		11/10	1
遠田武彦	真室川	11/12	1
齋藤好正	酒田みなと	11/6	1

委員会活動報告

GLT 地区活性化委員会



地区 GLT コーディネーター L. 浅賀 隆

時代の変化に対応し、持続可能なライオンズクラブを目指すことが現在における急務と捉え、当委員会を設けました。地区運営およびクラブ運営の活性

化を進め「明日のライオンズクラブ」を創るため、未来を見据え重要と思われる事項について協議を重ね、年次大会決議を目指し改革案（改革の提言）をまとめます。

会則・アラート委員会



会則・アラート委員会 委員長 L. 山下 里美

初冬の候、会員各位ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は会則・アラート委員会には格別のお引き立てをいただき、心より御礼申し上げます。

コロナ感染症の収まらない中、各クラブでの例会や委員会会議の中止や延期により、ライオンズクラブ奉仕事業の中止延期を余儀なくされ多大な損失をしていることは誠に残念に思っています。

私たち委員会もウェブ会議や電話 FAX でのやり取りで会議を行っているところではありますが、7月豪雨の際には多大なるご支援をいただきました事は感謝と御礼をいたすところでもあります。

コロナ禍でも自然災害は何時起こるか分かりません、そんな中、9月5日アラートセミナーを開催させていただき、少しでも備えや意識を持っていただきたいと思い、また、自然災害が発生しないことを願っております。

今現在、地区委員会は防災士によるセミナーを企画しているところでもあります、これは地区ガバナー L. 小関利一指導の元に計画しております。コロナ禍の中ではありますが収束をすることを願い、今期中にはセミナーを開催したいと考えておりますが、全国的に大勢の会員を集めて行う会議は自粛のムードが高く、333-E 地区では第2回キャビネット会議の際に感染者が出たとの報告がなされており、私たち会員も十分気を付けなければならない中、感染予防を怠らず計画していきたいと心得なければなりません。

身近に潜んでいる目に見えない大災害ともいえるコロナ感染症に対しても、各クラブアラート委員を中心に地域社会に対し、感染予防の啓蒙活動を行っていただけま

すよう委員会としてお願いをし、一日も早く平常な日々に戻りますよう念じております。

また今後も各クラブ、ゾーン、リジョン、準地区、複合地区、そして一般社団法人日本ライオンズ・アラート委員会と連携を図るとともに、会員一人一人に自然災害への意識の向上と奉仕の方法を共有し、決して無理のない事業を展開しなければならないと自負しています。現在私は一般社団法人日本ライオンズ・アラート委員会の MD 班長と言う立場で、MD 内で災害が発生した際に被災地域のライオンズクラブと、状況確認と緊急支援の策定をしなければなりません。そこで重要なのが、被災地の社会福祉協議会とのパイプ役です。これがしっかり取れていなければ、ボランティアセンターが開設されてもライオンズの機能が十分発揮できない恐れがあり、全国に発信できないことが生じる事にもつながります。一般社団法人日本ライオンズ・アラート委員会では、全国社会福祉協議会と今期8月3日災害協定を結んでおります、私たち地区も昨年度6月、山形県社会福祉協議会と「災害時における協力に関する協定書」を締結しております。出来れば今期、各クラブ、ゾーン単位で、地元社協との災害協定を締結されることをお願いいたします。

尚、協定書はキャビネット事務局に保管してありますので、書式等見本としてご必要であれば、キャビネット事務局へ申しつけください。

末尾になりますが、まずは家族、会社、そして地域の安全を守っていただき、お体をご自愛されクラブ活動に邁進されますようお祈りいたしております。

「もっと知って！」

ヘアドネーション・
デモンストレーション会&
コロナ禍で考える糖尿病予防動画制作



地区 FWT コーディネーター L. 諏訪 洋子

FWT の小児がん支援事業に「ヘアドネーション」があります。ガンで頭髪を失った子ども達が着用する医療用ウィッグの素材として、自分の頭髪を寄付するのが「ヘアドネーション」です。10月12日山形市内のヘアサロンで、地区 FWT 主催のヘアドネーション・デモンストレーション会を開催しました。その様子を TV や新聞で報道して頂き、たくさんの嬉しい反響がありました。サロンオーナーの話では、これまでに最高齢で 80 歳代の女性、また若い男性やお母さんと一緒に来る小学生など、様々な方々がヘアドネーションに訪れたと云います。

ご存知ですか？山形県の人口 1 万人当たりの美容室数は、なんと全国 3 位（1 位・秋田県、2 位・徳島県）で、県内には約 3100 施設があります。しかし、ヘアドネーションの協力店となると、県内ではまだまだ少なく PR の余地を感じます。また現在、県内の小・中・高等学校に配布しようとヘアドネーション推進ポスターを制作中ですが、若年層に向けたヘアドネーション PR、奉仕活動に参加する良い機会になれば嬉しい限りです。

また、11 月の糖尿病予防週間に合わせて配信できる様、地区 FWT と GST が合同で「コロナ禍で考える糖

尿病予防」動画を制作しました。動画には、メイン講師として大石田 LC・L. 吾妻正章（医師）のお話し、小関利一ガバナーの糖尿病予防への方針、村山保健所からのワンポイントアドバイスを収録しています。初めての試みの動画制作でしたが、コロナ禍でもできる活動をと、地区 FWT と GST コーディネーター、各副コーディネーター、その他の皆様の力を合わせて形にすることができました。

生活習慣が大きく影響すると言われる糖尿病予防のために、何かと日常のリズムを崩しがちなこのコロナ禍で、特に気をつけて欲しい大切なポイントを分かりやすくお伝えしています。動画は既に各クラブへ DVD で配布の他、メンバーの皆様がいつでもどこからでも視聴できるようにオンライン配信もスタートしました。企業のトップや地域のリーダーとしてご活躍中のメンバーの皆様の健康管理のため、例会で、個々の視聴で、ぜひご活用下さい。



動画はこちらから

ライオンズクエスト・青少年育成委員会



ライオンズクエスト・青少年育成委員会 委員長 L. 田中 義一

ライオンズクエストを、地区に導入して 12 年になります。継続して山形県教育委員会の後援を得て、これまでに、ワークショップ 11 回セミナー 20 回フローアップセミナー 4 回「ソーシャルスキル」トレーニング 1 回を開催しており、受講者は、教育関係者、生徒、LC 会員、合計 2558 名です。受講者のアンケート結果も高評価で、教育現場で大いに参考になるとの意見が多数でした。

この度の、新型コロナ感染拡大の影響で、新学期からの休校による授業の遅れに加えて園児、児童、生徒の感染者の発生による休校など、学校自体が外部を拒否しているためワークショップやセミナーの開催は非常に難しいのが現状であります。

コロナ禍ではあるが、今年は無理でも、来年はできると

いう希望を持ち、委員会としてライオンズクエスト事業を、今後の状況を見極め推進したいと思います。

昨今の薬物汚染の現状は、低年齢化、潜在化の傾向にあり、地区内においても、深刻な社会問題になっており、学校、家庭、地域社会が、一体となり、薬物乱用防止の活動を推進しなければなりません。

今年度も、コロナ禍ではありますが、セキュリティのしっかりした会場を選び、「薬物乱用防止教育認定講師養成講座」を開催したいと、計画を進めております。又啓蒙活動として、ポスターや小冊子の配布等を考えておりますので、ライオンズクラブ会員の心からのご支援と温かいご理解を戴きたいと思っております。

LCIF 交付金を頂いて

寒河江臥龍 LC 会長 L. 志 田 宏

この度は寒河江臥龍ライオンズクラブより申請させていた「LCIF マッチング交付金」に際しご承認を賜り衷心より御礼を申し上げます。今回「さくらんぼ共生会」の施設に対しては平成7年の第1回目から数えると4回目の援助金、交付金となっております。この交付金申請に際し332-E 地区前地区ガバナーのL.伊藤明彦、本年度ガバナーL.小関利一、そして第3R1Z前ZCのL.皿谷太郎兵衛、また当クラブ会員であり元地区ガバナーのL.角田裕一はじめとする姉妹クラブ、ゾーン内の5クラブの皆様また当クラブ前会長のL.水戸部を含む前三役の皆様、担当委員長としてL.芳賀秀明、関係各位の皆様、そして寄付金をご援助いただいた企業の皆様のご協力、ご支援があつてこそと深く御礼を申し上げます。

当クラブとさくらんぼ共生会さんとの交流は平成3年に遡ります。現在は18歳から65歳までの心身障がい者の援護事業を行っている施設を8つ運営を行っており世の中にはなくてはならない施設となっております。その状況の中、通年行事としてお互いのクリスマス例会に出席、文化祭への協力として出店及び売上金の寄付、豆まきや除雪などを園生との交

流を行い26年と言う長きに渡り行ってきました。我々先輩でありクラブ会員の努力の賜物と思っております。

その中で地元には障がい者の生活を支援する施設は2か所しかなく家族内及び地域からも強く建設の要望が出されておりました。この施設が完成することにより心身に障がいをお持ちの方が共同生活を通して自立、社会参加の支援を行う事ができます。当クラブの元地区ガバナーのL.角田裕一が「ノーマライゼーション」のガバナーテーマに立てておりました。障がいを持つ人と持たない人が平等に生活する社会を実現する考え方です。我々ひとりでは小さくとも目的を一緒にする事により「ウイサーブ」我々は奉仕する…に繋がり結果的に関係各位の皆様のおかげで我々も目的の一つ達成した喜びを感じております。

昨今のコロナ禍の状況の中、今後も世の中のお役に立てるライオンズクラブの一員として使命を全うして参る所存でございます。

最後に我々クラブに対して今後も変わらぬご指導ご鞭撻を心からお願いすると共に改めて御礼を申し上げます。ここから再スタートです。 感謝

大石田 LC 会長 L. 石 川 明 文

この度（令和2年7月28日）の最上川豪雨災害の被害に対し、「LCIF」より地域復興交付金を頂きました。みなさま方の温かいご支援に対し、厚く御礼申し上げます。

この度は、我が地区の想定を超える雨量により、いまだかつて経験のしたことのない、最上川の水位が上昇し、河川の一部から、床下・床上の浸水が始まり、田畑はもちろん、100棟程被害に遭われました。また、命の根幹である上下水道施設が被害に遭い、冠水し、機能停止に陥り、山間部を除く町内全域で4日間の断水が起きました。

そうした中、いち早く北は、青森 ZEROLC、南は、富山県の高岡アラート LC、県内はもちろん、県外からの救援物資・支援をいただきました。又、332-E 地区アラート委員会・地区内各クラブより、テント・タオル・ウエス・ミネラルウォーター等を始め、民家の片付け作業・炊き出し、家財・畳などの運び出し、土砂やヘドロの撤去作業と、救援物資・労力奉仕をして頂き、大石田町長始め、町民の方々から大変感謝されました。

しかし、災害による援助活動はこれだけで終わることなく、災害後も続きました。この災害により山のように出た災害廃棄物を、当地区は豪雪地帯でもあるた

め、降雪・積雪前に撤去しなければならず、早急な措置を講ずる必要がありました。今の仮置き場から処分場への積み込み・撤去作業をするにあたり、その地域復興交付金を「運搬・処分代」の一部として活用させて頂きました。

最後になりますが、この度のライオンズクラブの迅速・的確なる救援・支援活動に対し、大石田 LC はもちろん、被災された町民・役場及び町長、社会福祉協議会、被災を免れた町民からも、ライオンズクラブの存在を新たに認識して頂いたものと確信いたします。

ライオンズクラブみな様方の、温かいご支援・ご協力に対し重ねて感謝申し上げます。



アクティビティ



「Community Activities」

上山LC 会長 L.佐藤 晃次

上山ライオンズクラブはクラブ結成55周年を迎えることとなりました。これも諸先輩方とクラブ会員のご協力の賜物と思っております。ありがとうございました。

ライオンズクラブでは「We Serve」をスローガンに100年以上にわたり、人に社会に貢献する活動に取り組んで参りましたが、今年度は新型コロナウイルスの影響により、上山ライオンズクラブ最大のアクティビティであります、上山剣道錬成大会や、青年育成事業である、ミニマニア杯など大会が開催できず、本来ならばこの大会の目指し、日々の練習を頑張ってきた子供たちの活躍の場をうばってしまったことは心残りであり、来年の課題でもあります。

本年度のアクティビティとして、未来ある子供たちへ上山ライオンズクラブ結成55周年記念アクティビティとしては、上市市立南中学校、吹奏楽部へ テナーバストロンボーン1本、Bbチューバ1本を寄贈。

また、こども発達支援ルーム“おれんじ学園 Kaminoyama”へ、スペースブロックまる1個と車用マグ

ネットシート4枚を寄贈致しました。

スペースブロックは感覚統合理論を用いて学習障害、ADHD等の発達障害を支援するため開発され、子供たちの興味を誘発し、主体性、創造性を活かしながら安全に遊び、学べる玩具です。

今回寄贈させて頂いた、楽器、スペースブロックまるをたくさんの子供たちにご利用していただき、上山が子供たちの笑顔あふれる街になるよう、引き続き上山ライオンズクラブ一丸となり青少年育成に力を入れて行きたいと思っております。

環境保全事業では、上市市内のクアオルトウォーキングコースの整備清掃活動を行いました。様々な事業の中止があいつぐ中、清掃活動を実施できたことは、会員、市職員の皆様の協力があり、実施することが出来ました。

会長の任期も残り半年となりました。コロナ禍の中で大変な時期ですが、今だから出来るアクティビティを模索し、未来へ繋げていきたいと思っております。

「Community Activities」

上山あららぎLC 会長 L.齋藤 利孝

コロナウイルス感染症が世界中で感染拡大、終息が見えない状況の中、『希望をもって世界に We Serve』を会長テーマ、運営方針をガバナー重点目標「会員維持に努め会員増強」目標3名としスタート。会員の協力を得て、現在まで2名の新入会員を迎えることができ感謝している。

アクティビティについては、毎年資金獲得事業での収益金を上市市内の障害児・障害者福祉に関係する事業所や施設等に贈呈させていただいているが、今年度事業は中止。コロナ禍の今地域に貢献したい思いは変わらず、地域のニーズに応えるため上市市福祉協議会に相談し、コロナ禍で中止になった活動費の一部を児童発達支援センター『山形ひかり学園』に活動支援金として贈呈。通園される子供達に有効に使っていただける事を祈念している。

環境保全労力アクティビティについては、上山LCと合同(10回目)市で力を入れているクアオルト事業、観光資源ともなっている西山コースの整備清掃を、西山ふるさと公園管理協会、市職員の方々にもご参加いただき実施した。LCIF「キャンペーン100」については\$1,100を献金済、今後クラブ献金を考えている。FWT継続奉仕事業 外

貨で「小児がん」支援事業には、現在6か国の紙幣通貨の協力があり5月末締切にむけて継続回収していく。

後半のアクティビティの予定としては、来年3月11日東日本大震災発生から10年の節目となることから被災地の姉妹クラブ、石巻めぐみ野LCを通じて復興支援のアクティビティを考えている。

2月には、冬期間やコロナ禍での献血不足が少しでも解消されるよう献血運動実施予定。労力アクティビティとして前に寄贈させていただいた前川足湯と石碑周辺の草刈りや樹木伐採、清掃も行いたいと思っている。

今後もコロナウイルス感染症拡大により制約を受けながらの活動になると思われるが、こんな時だからこそ培ってきた会員相互の結びつきを大切に、その都度皆で検討、対応し乗り切っていきたい。



『フラワーほっと』さんと合同芋掘り

長井LC 会長 L.安 部 秀 一

10月15日 長井市九野本の畑で、障害者就労支援施設『フラワーほっと』の利用者（約30名）と合同の芋掘りを行いました。この場所は、同施設を運営するNPO法人置賜のぞみ会理事長でもある長井LC所属のL.色摩武愛所有の畑を提供していただいたものです。例年だと長井LCの多くのメンバーも参加しているのですが、今年は密を避ける為に五役のみの参加といたしました。先にサツマイモを掘りました。これは予定外で、L.色摩のサブライズ。その場で焚火をして、焼き芋にいただきました。高く澄み切った秋の空のもと、食べたお芋はシットリ、ホクホクで格別の味でした。次はサトイモ、今年で5年目ということもあり施設利用者の方も手慣れたものでスコップを使って手際よく掘り上げ、親芋と子芋を選別していました。

例年であれば収穫後、交流を深めるために昼食を兼ねて合同芋煮会を開いていたのですが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年はやむなく中止としました。この事態が収束したら又再開しようということ意見が一致しました。今回は色摩夫人に芋煮を作ってください、施設に持って帰って食べていただきました。

長井LCの芋煮例会は夜に変更。当日2R2Zの第23回親善ゴルフ大会があり、参加したメンバーは大会終了後、滑り込みで例会に参加してくださいました。早朝からお疲れ様でした。

新型コロナウイルスは、感染リスクという意味で「対人、対面の活動」に対して非常に大きな制約を与えています。計画していた活動内容を変更、中止しなければならなくなってしまいました。だからといって尻込みばかりしてはいられません。感染拡大防止を第一に考え、ソーシャルディスタンスが保てる形、いわゆるwith コロナという時代に合った活動をしていきたいと思えます。と同時に早期終息を願ってやみません。



「被災地支援ツアー」例会

長井LC 会長 L.安 部 秀 一

11月5日 福島県相馬市、相馬郡新地町を巡るツアー例会を行いました。東日本大震災と東京電力福島第1原子力発電所の事故の発生から9年半が経過し、私たちの記憶が薄れかけてきている、いわゆる『風化』が進んでいます。避難指示が解除された地域においては、放射線への不安や避難先での仕事および学校生活が定着したことから、若年層の帰還が進まず、高齢化の加速が見られます。また、今後の様々な復興施策や支援策が縮小されていくことが予想されている中、被災者の生活と生業の再建のための後方支援を目的としたツアー例会を行いました。午前中は相馬共同火力発電所(株)を見学させていただきました。新型コロナウイルス感染拡大防止の為、建屋内には入れませんでしたが、大気汚染、水質汚濁、環境、騒音、CO2削減等の対策をされていること教えていただきました。昼食は松川浦のお魚屋さんが経営する食堂に行き、名物のホッキ貝をおいしくいただきました。GO TOトラベル、GO TOイート等の影響もあつてか店前には数十人の行列ができておりました。午後は相馬市観光協会さんの案内で市内の施設を巡りました。途中、伝承鎮魂祈念館では津波に流されながらも九死に一生を得

た『語り部』の方に震災のお話をしていただき、改めて津波の恐ろしさを痛感しました。最後は相馬市防災備蓄倉庫で有事の際に備えての毛布や水、食料品等を備蓄しているのを見学させてもらい、備えあれば憂いなしを祈るばかりでした。

今回実際に被災された方々とお話をさせていただき、以前とは打って変わって元気になられたなと思いました。震災直後、ボランティア活動をした際はみんな下を向いていて、生きる気力も無いように感じました。が、今は明るく活発で、「また来てください」の言葉に訪問して良かったと思えた瞬間でした。



第1R・第2Z 5クラブ合同事業「山形県衛生研究所へ感謝の花束」

1R2Zゾーン・チェアパーソン L.山 上 嘉
(山形霞城LC会長 L.村井 学 代筆)

新型コロナウイルスが猛威を振るい始めてから早くも1年が経過しようとしている。

我々ライオンズクラブ活動も中止や延期が相次ぐ中、新年度に入り、新規感染者は減っては来たものの、第二波が懸念され出し、各医療機関・医療従事者が切迫した状況であったこと、また検査体制も逼迫した状況であったことなどを後々知ることとなる。我々ライオンズクラブメンバーとして、また一市民として、リスクを負い、命の現場の最前線に立たれている方々へ感謝の気持ちを表せないか、からこのアクティビティは始まりました。山形県では3月31日に初めて感染者が確認されました。山形県における感染症の分析・検査を日常業務としている山形県衛生研究所において、以降PCR検査を日夜休みなく行い、緊急事態宣言時の検査体制では、職員さん方々には相当な危機感とストレスがおりになったことでしょう。現在民間医療機関でもPCR検査は実施されておりますが、県衛生研究所では検体検査を実施しております。その他、インフルエンザ流行動向や食中毒検査まで幅広く対応し、県民生活の安全に大きく寄与しております。そこで、我々山形市に拠点を持つライオンズクラブとして、1R2Z5クラブの会長へご相談申し上げ、令和2年9月～令和3年6月までの期間、1

クラブ月2回（第二・第四水曜日）を当番月2回（1クラブ当たり年4回）、山形県衛生研究所様へ感謝の言葉を添えてアレンジ花をお送りする、5クラブ合同アクティビティの実施を決定致しました。

山形県議会議員吉村和武氏（山形霞城LC会員）にご仲介頂き、山形県健康福祉部を通して実現の運びとなりました。

実施に当たり、山形霞城・山形千歳・山形紅花・山形羽陽・山形アルカディア各クラブ会員の皆様のご理解とご協力に感謝申し上げますと共に、今日この時も感染症と向き合い続ける医療従事者・検査機関職員方々・役所担当部課の方々に深甚なる感謝を申し上げます。

一刻も早くこの感染症が終息に向かいます様に。



山形交響楽団へ譜面台贈呈

昨年末より発生した、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、さまざまな社会活動が自粛を余儀なくされ、新生活様式に則り行うこととなりました。そこで、今年度のテーマは『新しい時代に向かって WE SERVE!』～今こそ！地元の誇りを大切にしよう～と致しました。テーマの遂行にあたり、地元の大切な文化を守り抜く一助となるための活動を考えました。

山形には地域に音楽による潤いを与え続け、地域はもとより全国からも評価の高い「山形交響楽団」というプロオーケストラがあります。この誇るべき楽団に何かお役に立てることはないかとお聞きしたところ、楽団もこの状況下で活動自粛を余儀なくされ、公演のキャンセルや演奏活動が行えず、楽団経営や運営も大変厳しい状況とのことでした。特に譜面台が大分傷んでおり、やり繰りしながら大切に使用しているものの、寿命を迎えているものも多くなってきているとお話でした。折しも、活動拠点を新県民会館に移る時期でもありましたので、この機会に出来るだけ新しいものと交換していただくチャンスでもあると思いました。山響さんは今までスクールコンサートに力を入れ、山形県下にて設立以来48年間で300万人以上の子供たちに音楽を届けてこられました。

全体的な演奏回数も他のプロオーケストラ楽団より群

山形中央LC 会長 L.小 嶋 幹 男

を抜いて活動されております。そういう地道な活動が多い山響さんにとって、譜面台は大切な道具のひとつであり、今後益々のご活躍を祈念して、この度、譜面台40台贈呈させていただきました。

9月18日の贈呈式においては、理事長 菌部 稔氏と専務理事 西濱秀樹氏においでいただきました。西濱氏には、山響の映像を見ながら音楽の魅力などをたっぷりお話していただき、大変有意義な例会となりました。当日は山形新聞社より取材をいただきライオンズクラブ奉仕活動PRの一環になったと思います。

まだまだ厳しい状況が続きますが、ニーズに沿ったアクティビティを今後も展開してまいります。



マンスリーレポートクラブ別一覧表 2020年9月

R	Z	クラブ名	会員移動状況						家族会員		金銭アクティビティ		労力アクティビティ		献血		献腎	献眼	LCIF 金額	出席率 (%)	
			年初	月初	目標	入会	退会	現在	世帯数	子会員数	件数	金額	件数	人数	受付者数	献血者数					
1	1	山形	42	43	3	0	0	43	0	0	3	40,320	3	8	102	88	0	0	0	80.2	
		山形蔵王	34	33	2	0	0	33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	84.8		
		上山	44	44	2	0	0	44	17	17	1	6,320	1	21	0	0	0	0	95.4		
		山形中央	35	35	3	0	0	35	3	3	1	200,000	0	0	0	0	0	0	84.2		
		山形センチュリー	17	17	1	0	0	17	0	0	1	20,000	0	0	0	0	0	0	70.5		
		上山あららぎ	34	33	3	0	0	33	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	71.2		
	2	小計	206	205	14	0	0	205	23	23	6	266,640	4	29	102	88	0	0	0		
		山形霞城	85	87	3	0	0	87	12	17	2	15,000	2	4	0	0	0	0	71.4		
		山形千歳	23	25	2	0	0	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	72.0		
		山形紅花	28	28	1	0	0	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	85.7		
		山形羽陽	23	26	2	0	0	26	0	0	0	0	1	14	0	0	0	0	71.1		
		山形アルカディア	24	26	3	0	0	26	7	7	1	34,170	1	13	0	0	0	0	82.6		
		小計	183	192	11	0	0	192	19	24	3	49,170	4	31	0	0	0	0	0		
		合計	389	397	25	0	0	397	42	47	9	315,810	8	60	102	88	0	0	0		
2	1	米沢	50	50	3	0	0	50	14	26	0	0	3	16	10	8	0	0	0	62.0	
		米沢中央	27	28	3	1	0	29	0	0	0	0	2	4	10	8	0	0	0	54.3	
		米沢松岬	17	16	3	0	0	16	1	1	2	103,751	4	16	10	8	0	0	0	46.8	
		米沢松川	29	28	2	0	0	28	6	8	0	0	2	11	11	8	0	0	0	50.0	
		小計	123	122	11	1	0	123	21	35	2	103,751	11	47	41	32	0	0	0		
	2	南陽	38	38	3	0	0	38	0	0	3	51,902	3	43	77	68	0	0	0	60.5	
		川西山形	20	20	3	0	0	20	6	6	1	6,450	2	11	30	27	0	0	0	92.5	
		高畠	58	58	3	0	0	58	11	14	1	13,200	1	10	52	48	0	0	0	52.5	
		長井	48	48	3	0	0	48	9	9	1	16,669	0	0	31	29	0	0	0	62.5	
		飯豊	26	26	3	0	0	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	65.3	
白鷹	21	21	2	0	0	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	70.5			
小計	211	211	17	0	0	211	26	29	6	88,221	6	64	190	172	0	0	0	0			
合計	334	333	28	1	0	334	47	64	8	191,972	17	111	231	204	0	0	0	0			
3	1	河北	37	36	2	0	0	36	9	10	2	24,597	2	28	45	41	0	0	0	91.6	
		寒河江	36	37	3	1	0	38	11	12	0	0	2	23	0	0	0	0	0	81.5	
		西川	27	29	3	0	0	29	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	63.7	
		中山	15	15	2	0	0	15	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	63.3	
		寒河江臥龍	59	59	1	0	0	59	15	15	0	0	2	28	0	0	0	0	0	41.5	
		小計	174	176	11	1	0	177	37	39	2	24,597	6	79	45	41	0	0	0	0	
	2	天童	27	27	2	0	0	27	0	0	1	2,390	1	7	8	7	0	0	0	74.0	
		天童王将	54	59	3	0	0	59	6	6	2	12,980	3	25	48	40	0	0	0	80.5	
		天童舞鶴	39	40	5	0	0	40	7	7	2	2,981	1	4	50	44	0	0	0	87.5	
		天童中央	51	51	2	0	0	51	0	0	1	4,490	1	44	15	13	0	0	0	85.2	
天童もみじ	10	10	3	0	0	10	0	0	1	890	0	0	3	3	0	0	0	90.0			
小計	181	187	15	0	0	187	13	13	7	23,731	6	80	124	107	0	0	0	105,967			
合計	355	363	26	1	0	364	50	52	9	48,328	12	159	169	148	0	0	0	105,967			
4	1	村山	17	17	2	0	0	17	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	79.4	
		東根	14	12	2	0	0	12	1	2	3	33,600	3	7	168	141	0	0	0	105,967	
		尾花沢	44	42	4	0	0	42	11	12	1	87,679	1	8	101	92	0	0	0	58.3	
		大石田	33	34	3	0	0	34	3	4	0	0	0	0	0	0	0	0	95,371		
		東根さくらんぼ	46	46	4	0	0	46	9	9	1	16,493	2	6	51	47	0	0	0	54.0	
		小計	154	151	15	0	0	151	28	31	5	137,772	6	21	320	280	0	0	0	201,338	
	2	新庄	16	15	3	0	0	15	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	81.8	
		真室川	39	39	4	0	0	39	5	5	0	0	1	12	0	0	0	0	0	34.6	
		新庄もがみ	19	20	2	0	0	20	1	1	1	15,000	1	27	0	0	0	0	0	78.9	
		新庄ニューセンチュリー	32	32	3	0	0	32	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	53.9	
新庄もみの木	18	18	3	0	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	66.6			
小計	124	124	15	0	0	124	13	13	1	15,000	2	39	0	0	0	0	0	0			
合計	278	275	30	0	0	275	41	44	6	152,772	8	60	320	280	0	0	0	201,338			
5	1	酒田	77	78	3	1	0	79	22	28	3	6,960	3	13	125	117	0	0	0	75.0	
		余目	17	17	2	0	0	17	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50.0	
		酒田みなと	36	36	3	0	0	36	11	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	80.5	
		酒田山王	6	6	2	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	91.6	
		酒田シーサイド	30	30	2	0	0	30	0	0	1	280,872	0	0	0	0	0	0	0	53.3	
		酒田さわやか	9	8	1	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	75.0	
	2	小計	175	175	13	1	0	176	37	45	4	287,832	3	13	125	117	0	0	0	0	
		鶴岡	42	43	3	0	0	43	7	8	2	59,260	3	27	0	0	0	0	0	0	59.3
		鶴岡朝陽	28	28	3	0	0	28	5	5	0	0	2	8	0	0	0	0	0	0	71.4
		三川	23	23	2	0	0	23	5	5	0	0	1	7	65	62	0	0	0	54.3	
羽黒		15	16	3	0	0	16	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31.2		
鶴岡鶴陵		38	38	3	0	1	37	10	14	1	2,520	1	13	0	0	0	0	0	0	78.9	
藤島		48	49	2	0	0	49	6	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36.8		
鶴岡中央		40	40	2	0	0	40	0	0	0	0	1	11	76	69	0	0	0	76.2		
鶴岡ナイスフェロー	6	6	3	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	83.3			
小計	240	243	21	0	1	242	39	49	3	61,780	8	66	141	131	0	0	0	0			
合計	415	418	34	1	1	418	76	94	7	349,612	11	79	266	248	0	0	0	0			
地区合計			1,771	1,786	143	3	1	1,788	256	301	39	1,058,494	56	469	1,088	968	0	0	0	307,305	

マンスリーレポートクラブ別一覧表 2020年10月

R	Z	クラブ名	会員移動状況						家族会員		金銭アクティビティ		労力アクティビティ		献血		献腎	献眼	LCIF 金額	出席率 (%)
			年初	月初	目標	入会	退会	現在	世帯数	子会員数	件数	金額	件数	人数	受付者数	献血者数				
1	1	山 形	42	43	3	0	0	43	0	0	2	25,380	2	5	63	61	0	0	0	84.8
		山 形 蔵 王	34	33	2	0	0	33	0	0	1	15,000	1	1	30	23	0	0	0	84.8
		上 山	44	44	2	0	0	44	17	17	0	0	1	20	0	0	0	0	0	89.7
		山 形 中 央	35	35	3	0	0	35	3	3	1	12,210	2	17	0	0	0	0	0	75.7
		山形センチュリー	17	17	1	0	0	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	76.4
		上山あららぎ	34	33	3	1	0	34	3	3	0	0	1	18	0	0	0	0	0	79.1
	2	小 計	206	205	14	1	0	206	23	23	4	52,590	7	61	93	84	0	0	0	0
		山 形 霞 城	85	87	3	0	0	87	12	17	1	129,870	0	0	0	0	0	0	0	72.8
		山 形 千 歳	23	25	2	0	0	25	0	0	3	69,732	3	18	0	0	0	0	0	80.0
		山 形 紅 花	28	28	1	0	0	28	0	0	1	3,204	1	8	9	9	0	0	0	71.4
		山 形 羽 陽	23	26	2	0	0	26	0	0	2	80,860	2	15	30	24	0	0	0	71.1
		山形アルカディア	24	26	3	0	0	26	7	7	1	50,000	0	0	0	0	0	0	0	75.0
	小 計		183	192	11	0	0	192	19	24	8	333,666	6	41	39	33	0	0	0	0
	合 計		389	397	25	1	0	398	42	47	12	386,256	13	102	132	117	0	0	0	
2	1	米 沢 沢	50	50	3	0	0	50	14	26	1	2,400	3	11	25	22	0	0	0	50.0
		米 沢 中 央	27	29	3	0	0	29	0	0	1	2,900	2	6	24	22	0	0	0	43.1
		米 沢 松 岬	17	16	3	0	0	16	1	1	1	2,998	2	5	24	22	0	0	0	40.6
		米 沢 松 川	29	28	2	0	0	28	6	8	0	0	2	8	25	22	0	0	0	51.7
		小 計	123	123	11	0	0	123	21	35	3	8,298	9	30	98	88	0	0	0	0
	2	南 陽	38	38	3	0	0	38	0	0	3	28,073	1	10	57	53	0	0	0	53.9
		川 西 山 形	20	20	3	0	0	20	6	6	2	8,910	2	11	33	32	0	0	73,934	95.0
		高 畠	58	58	3	0	0	58	11	14	1	5,000	1	15	0	0	0	0	0	50.0
		長 井	48	48	3	0	0	48	9	9	4	210,045	2	47	26	24	0	0	0	59.3
		飯 豊	26	26	3	0	0	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	65.3
		白 鷹	21	21	2	0	0	21	0	0	3	72,900	1	1	21	18	0	0	0	65.6
		小 計	211	211	17	0	0	211	26	29	13	324,928	7	84	137	127	0	0	73,934	
	合 計		334	334	28	0	0	334	47	64	16	333,226	16	114	235	215	0	0	73,934	
	3	1	河 北	37	36	2	0	0	36	9	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0
寒 河 江			36	38	3	0	0	38	11	12	1	10,000	1	21	0	0	0	0	105,614	85.5
西 川			27	29	3	0	0	29	1	1	0	0	1	14	0	0	0	0	0	82.7
中 山			15	15	2	0	0	15	1	1	2	10,000	2	4	59	47	0	0	0	56.6
寒 河 江 臥 龍			59	59	1	0	0	59	15	15	1	36,000	3	36	0	0	0	0	0	43.2
小 計			174	177	11	0	0	177	37	39	4	56,000	7	75	59	47	0	0	105,614	
2		天 童	27	27	2	0	1	26	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	75.4
		天 童 王 将	54	59	3	0	0	59	6	6	0	0	2	2	0	0	0	0	0	85.5
		天 童 舞 鶴	39	40	5	0	0	40	7	7	0	0	2	23	0	0	0	0	0	88.7
		天 童 中 央	51	51	2	0	0	51	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	78.4
		天 童 も み じ	10	10	3	0	0	10	0	0	1	10,900	2	9	0	0	0	0	0	95.0
		小 計	181	187	15	0	1	186	13	13	1	10,900	8	37	0	0	0	0	0	0
合 計		355	364	26	0	1	363	50	52	5	66,900	15	112	59	47	0	0	105,614		
4		1	村 山	17	17	2	0	0	17	4	4	3	46,765	2	9	34	31	0	0	0
	東 根		14	12	2	0	0	12	1	2	1	8,200	3	5	23	18	0	0	0	83.3
	尾 花 沢		44	42	4	0	0	42	11	12	2	49,159	4	32	48	41	0	0	0	53.3
	大 石 田		33	34	3	0	0	34	3	4	2	322,727	2	43	0	0	0	0	0	80.8
	東根さくらんぼ		46	46	4	1	0	47	9	9	4	49,306	4	56	25	19	0	0	0	57.8
	小 計		154	151	15	1	0	152	28	31	12	476,157	15	145	130	109	0	0	0	0
	2	新 庄	16	15	3	0	0	15	4	4	2	33,742	2	12	49	45	0	0	149,552	81.8
		真 室 川	39	39	4	1	0	40	5	5	1	3,028	1	9	0	0	0	0	0	46.1
		新 庄 も が み	19	20	2	0	0	20	1	1	1	245,150	2	27	0	0	0	0	0	78.9
		新庄ニューセンチュリー	32	32	3	0	0	32	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	78.1
		新 庄 も み の 木	18	18	3	0	0	18	0	0	0	0	1	13	0	0	0	0	0	63.8
		小 計	124	124	15	1	0	125	13	13	4	281,920	6	61	49	45	0	0	149,552	
	合 計		278	275	30	2	0	277	41	44	16	758,077	21	206	179	154	0	0	149,552	
	5	1	酒 田	77	79	3	0	0	79	22	28	1	30,000	1	17	0	0	0	0	0
余 目			17	17	2	0	0	17	4	4	1	100,000	1	5	0	0	0	0	0	82.3
酒 田 み な と			36	36	3	0	0	36	11	13	2	52,801	1	11	0	0	0	0	63,372	83.3
酒 田 山 王			6	6	2	0	0	6	0	0	1	6,610	2	11	0	0	0	0	0	100.0
酒田シーサイド			30	30	2	0	0	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	55.0
酒田さわやか			9	8	1	0	0	8	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	75.0
小 計			175	176	13	0	0	176	37	45	5	189,411	6	45	0	0	0	0	63,372	
2		鶴 岡	42	43	3	0	1	42	6	7	2	162,264	6	42	111	96	0	0	306,298	44.1
		鶴 岡 朝 陽	28	28	3	0	1	27	5	5	3	113,140	4	28	44	43	0	0	10,562	89.2
		三 川	23	23	2	0	0	23	5	5	0	0	1	13	0	0	0	0	0	65.2
		羽 黒	15	16	3	0	0	16	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50.0
		鶴 岡 鶴 陵	38	37	3	0	0	37	10	14	2	3,360	3	22	0	0	0	0	242,926	77.0
		藤 島	48	49	2	0	0	49	6	11	0	0	1	5	72	59	0	0	0	56.5
		鶴 岡 中 央	40	40	2	1	1	40	0	0	2	24,340	4	60	0	0	0	0	0	71.9
鶴岡ナイスフェロー		6	6	3	0	0	6	0	0	0	0	1	5	0	0	0	0	0	91.6	
小 計		240	242	21	1	3	240	38	48	9	303,104	20	175	227	198	0	0	559,786		
合 計		415	418	34	1	3	416	75	93	14	492,515	26	220	227	198	0	0	623,158		
地 区 合 計		1,771	1,788	143	4	4	1,788	255	300	63	2,036,974	91	754	832	731	0	0	952,258		



会場は長井市西根地区で朝日山系の南麓、西山とよばれ、昔から人々に親しまれてきました。昭和52年から昭和56年にかけて発掘調査が行われ、旧石器、縄文弥生時代の生活跡が見つかった、昭和57年長者屋敷遺跡に竪穴式住居4棟を復元し、「縄文村」を開村しました。これを機に西根地区文化振興会が音で表現する「縄文太鼓を製作し、翌、昭和60年縄文太鼓の演奏と縄文時代の暮らしに触れるイベント「第一回縄文まつり」ととなりました。まつりのテーマは「縄文時代の文化に触れる、古代から伝わる知恵や技、豊かな自然と共生、現代に繋ぐ縄文人の心」10年前からは西根小学校4年生による縄文太鼓演奏、地区ぐるみの参加、幅広い年齢層の参加から楽しいイベントとなっています。古代の丘は年々施設も整備され、長井市内の遺跡から出土した考古資料を中心に収蔵、展示されています。長者屋敷遺跡竪穴住居、中里堤、太陽の広場、土偶像、なしの木むらキャンプ場が設けられています。太陽の広場からは、四季おりおりの西置賜の風景が一望できる市民の憩いの場として、文化活動の場として幅広く一般に開放され、多く利用されています。

〈絵・文〉地区機関誌編集局 局長 L.色摩武愛

